

「地域金融機関平成18年3月CDO(全国地銀CLO(沖縄CLO)を含む)」発行後情報開示サマリー
(平成18年6月末時点)

1. 発行の概要

項目	優先受益権	メザニン受益権
発行証券総額	6,000,000,000円	170,000,000円
固定配当率	0.82%	0.93%
予定償還日または予定償還スケジュール	【当初どおり変更なし】 ・2007/4/15から3ヵ月ごと償還(休日翌営業日) ・平均年限(デフォルト、延滞が発生しない場合):2.000年	【当初どおり変更なし】 ・2007/4/15から3ヵ月ごと償還(休日翌営業日) ・平均年限(デフォルト、延滞が発生しない場合):2.000年
格付(維持、変更等)情報	【当初どおり変更なし】 Aaa(Moody's)、AAA(R&I)	【当初どおり変更なし】 A1(Moody's)、AA(R&I)

2. ストラクチャー、関係者概要

項目	開示内容
主な関係者の情報	
参加金融機関 (オリジネーター・サービサー)	株式会社荘内銀行、株式会社富山銀行、株式会社琉球銀行、株式会社沖縄銀行、株式会社栃木銀行、 ぐんま信用金庫、高崎信用金庫、足利小山信用金庫、さわやか信用金庫、岐阜信用金庫、 豊田信用金庫、大阪信用金庫、第一勧業信用組合(金融機関コード順)(5銀行、7信用金庫、1信用組合、合計13金融機関)
受託者	みずほ信託銀行株式会社
アレンジャー	三菱UFJ証券株式会社
セラー	中小企業金融公庫
リスクに対する手当て	
信用補完・流動性補完	信用補完: 中小公庫が保有するシニア劣後受益権(3.53億円)の設定 参加金融機関が保有するジュニア劣後受益権(約4.2%~約19.4%)の設定 流動性補完: 貸付債権の3ヶ月前取利息 ジュニア劣後受益権者に対する配当金の信託終了時までの留保 ジュニア劣後受益権者のコントロールアモチでの元本償還につき1回分の償還額を留保
相殺リスク	当初から全ての債務者に関して、債権譲渡に関する確定日付ある証書による異議をとどめない承諾を取得する他、金銭消費貸借契約において相殺禁止条項を加える等の手当てがなされている。
劣後部分現存額	シニア劣後受益権: 353,000,000円 ジュニア劣後受益権(合計): 552,000,000円
劣後部分既存額	
シニア劣後受益権	(合計)ー (うち通常償還要因)ー (うちデフォルト要因)ー
ジュニア劣後受益権(合計)	(合計)ー (うち通常償還要因)ー (うちデフォルト要因)ー

3. 裏付資産の属性、性質

項目	債券発行時点(平成18年3月)	平成18年6月時点
債権残高	7,075,000,000円	7,075,000,000円
元本残高率	100%	100%
延滞率(注1)	0%	0%
デフォルト率	0%	0%
累積デフォルト率	0%	0%
債務者数	320社	320社
一債務者あたり 平均貸出額	22,109,375円	22,109,375円
加重平均残存期間 (WAM)	24.0ヶ月	21.0ヶ月

債権残高及び債務者数については、現状有姿交付及び期限前弁済を控除したものである。

(注1) 延滞率: 報告期間中の延滞発生金額/期初債権元本残高(%)